

<p>書名 項目</p>	<p>NEW HORIZON English Course</p>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○小学校で学習した単語や表現をマークでわかりやすく示している。 ○題材の内容と新出文型の習得のための言語活動（Activity）の内容がつながっていて、自然な流れで学習できる。Activityが豊富で充実している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○題材の内容が深く、生き方や自分のあり方を考えさせることができる。 ○ポスターの作成やメールの返信、ディベート、スピーチなど、自分の考えをまとめ表現する活動が用意されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭で目標を確認し、Unit 末の Check や巻末の CAN-DO-LIST で自己評価により、振り返りができる。UNIT 毎にも目標が明示されているため、教師と生徒が目標を共有でき、生徒が見通しを持って学習を進めることができる。 ○今日的課題や生徒の知的好奇心を喚起する題材が配列されていて、視野を広めたり異文化理解を深めたりすることができるよう工夫されている。 ○「学び方コーナー」があり、生徒の自主的学習を促すことができる。 ○相手を意識して伝えることを重視した表現活動が位置づけられている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○各ユニット冒頭にゴールが明示されている。 ○ユニット毎に、聞いて概要をつかむ Preview の活動がある。「聞く」活動から入り、「読む」「話す」「書く」「発表」とステップを踏んだ言語活動が配置されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○A4サイズでページ数を増やさずに情報量を多くしている。 ○挿絵のレイアウトや色使いがよく、見やすく大事なポイントがわかりやすい。 ○QRコードが掲載され、単語や本文の文字と音声、スライドアニメをスマートフォンなどで再生でき、自主学習に活用できる。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○文字については、フォントやサイズが巧みに使い分けられていて、とても見やすい。 ○1年生は、アクセントは各単語に付記し、発音記号は巻末に掲載してある。2, 3年生は、アクセントと発音記号が水色で併記されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○4技能5領域の言語活動がバランス良くできるように構成されている。 ○教師と生徒が目標を共有でき、生徒が見通しを持って学習できるよう工夫されている。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>SUNSHINE ENGLISH COURSE</p>	<p>9</p> <p>開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○マンガで楽しく、新出文型を視覚的に理解できるよう工夫されている。また、「Scenes」はつながったストーリーで構成され、活用できる状況や場面を明示している。文法解説が隣のページにあり、文法とコミュニケーションを重ねて理解できる。</p> <p>○各単元の「Scenes」には、新出表現の使い方に慣れるため、「Listen」、「Speak」、「Write」の3つの活動がある。最終的なゴール「Our Project」に向けて、表現するための技能が身につく「Steps」がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○自分の身近なことから社会的な場面へと段階的に発展していく内容の「Our Project」が3年間を通して8カ所設置してある。基礎・基本の習得後、読む力と考える力を鍛える「Think」、自分の言葉で本文を語ることで理解力と表現力を高める「Retell」、即興でのやりとりをして、伝え合う楽しさを味わう「Interact」の流れになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○3年間を見据えた「Can-Do リスト」や段階ごとの目標を設定し、学び合い、高め合う「協働学習」、振り返りの「自己評価項目」など、今日的課題への対応が積極的に取り入れられている。日本の伝統文化、国際理解を深める題材やSDGsに関連した題材等、視野を広げ人間性を高めることのできる題材が取り入れられている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○既習表現や語彙を使って、ペアでsmall talkを行う「Try」、与えられた場面やトピックで即興のやりとりを行う「Interact」、メモをもとに即興で発表し、質問したり感想を述べたりする「Our Project」の活動を通し、4技能5領域を統合的に活用する流れとなっている。</p> <p>○各単元の最初のページの「Goal」で単元の目標が確認でき、巻末では3年間を通しての4技能5領域別のCan-Do リスト「できるようになったこと」を使用し、学びの軌跡がわかるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○自主学習のサポートツールとしてQRコンテンツが利用できる。質・量ともに豊富な写真や挿絵などが生徒の興味・関心を高め、理解を助け、深めるように工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○1年では手書き文字に近い欧文書体が使われている。発信語彙と受容語彙が区別されている。強勢の記号が大きくて見やすい。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○小学校英語で身につけた力を高め、高校英語へと円滑につなげることが可能である。基礎・基本を習得し、題材について考え、自分の言葉で本文を語り、自己表現する流れで学習し、5領域の統合的な活動「Our Project」につなげる構成となっている。</p>	

書名 項目	<h1>NEW CROWN English Series</h1>	15 三省堂
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○教科書本文と共に新出文型が示され、「POINT」では、その解説文と共に文法事項や文構造を整理・理解させるようになっている。動名詞が主語になるものと目的語になるものを並列で提示したり、現在完了では have と has の文を並列したりと、多様性や注意点、既習事項との関連性等が分かりやすく示されている。</p> <p>○新出文型を習得するためのパターンプラクティスが豊富に用意されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「Use」ではまとまりのある英文を読み取ったり、書いたり、発表する力を育て、「Take Action」では、生徒の実生活に近い場面を設定している。</p> <p>○中学卒業時の「話すこと」の目標である「ディスカッション」に向けて、1年時から「Project」として話し合う活動を段階的に設定している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○車椅子バスケットボールの選手やキング牧師等を題材に取り上げた人権問題、異文化理解や伝統文化等の題材を通して SDGs 等の現在の様々な課題について深く考えさせることができる。</p> <p>○読み物資料に「不思議の国のアリス」「星の王子さま」「賢者の贈り物」など名作を掲載している。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○各単元の「GET」の中に「Talk」や「Speak」の活動があり、新出文法を用いた言語活動ができるようになっている。「GET Plus」における場面設定を明確にした言語活動と、次ページの「文法のまとめ」における新出文法との関連付けがされている。</p> <p>○「Word Bank」「Idea Box」で言語活動に必要な語彙が取り上げられている。</p>	
資 料	<p>○QRコードを利用して発音の仕方をアニメーションで確認することができる。</p> <p>○巻頭では学びのサイクルや身に付けたい力を視覚的に表示し、巻末では発信力を高める工夫がされている。</p>	
表記・表現	<p>○1年生から独自の書体、UDフォント、ブロック体、活字体を段階的に使用し、2・3年生は併用している。1年生は、アクセントは各単語に付記し、発音記号は巻末に掲載してある。2, 3年生は、アクセント、発音記号が併記されている。</p>	
総 括	<p>○各単元は、基礎の習得から各領域の活動を通して活用する力を身に付ける構成になっている。また、文の構成や文法事項を習得しやすく作成されている。読み物教材の教育的価値も高い。</p>	

書名 項目	ONE WORLD English Course	17 教出
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <p>○本文の右ページに基本文のパターンプラクティスができる活動が設定されている。</p> <p>○Tips では5領域それぞれの技能習得のためのポイントが示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○本文の一部をそのまま利用しながら、生徒自身の考えを少し加えて話したり、書いたりする表現活動ができるよう工夫されている。また、読み物で扱っている題材や人物が、あまり知られていない内容のため、読み取ろうとする意欲をそそる。</p> <p>○各パートに設けられた“Think & Try”では、自分の考えや意見が求められるため、パーソナライゼーションの確認が取れる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻末“Activities Plus”を用いることで、暗記や習得知識の確認、質問に対する応答の練習ができる。</p> <p>○英語学習の進め方を示し、自主学習で力をつけられるよう工夫している。</p> <p>○インターネットのニュース動画の読み取りやEメールのやりとりを題材として扱い、コミュニケーションに現実味を持たせるよう工夫している。</p> <p>○挿入されている英語の歌がよい。歌詞が生きる力を高めるものが多い。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○チャットやスピーチ、ディスカッション、ディベートといった相手を意識して話す活動が盛り込まれ、「話すこと」の「やりとり」や「発表」の力を高める工夫がなされている。</p>	
資 料	<p>○巻末の「Activities Plus」では、にマスキングシートを活用して、重要な語句や文、表現を学習できるように工夫している。</p> <p>○QR コードが掲載され、単語や本文の文字と音声、スライドアニメをスマートフォンなどで再生でき、自主学習に活用できる。</p>	
表記・表現	<p>○カラーユニバーサルデザインに基づく配色を用いている。</p> <p>○1年生の導入期から順に3つの書体を使用していて、多様なフォントについて自然に馴染める。</p>	
総 括	<p>○マスキングシートを活用して、自主学習がやりやすいように工夫されている。</p> <p>○各単元の「Part」で学んだことを、巻末の「Activities Plus」を活用して確認、定着をさせ、「Project」において5領域の統合的な活動を通して自己表現をする構成になっている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<p>Here We Go! ENGLISH COURSE</p>	<p>38 光村</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○「Part」ごとに本文とのつながりを意識した、4技能を使う活動が用意されている。 ○巻末の「Let's Talk」は、継続的に扱うことで話す力を高めることができる。 ○言語の使用場面を示して文法事項が整理されているため、知識・技能を活用しながら新出表現を身につけることができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各学年3カ所（各学期末）にプロジェクト型の「You Can Do It!」、自分の言葉で話す力をつける「Story Retelling」、即興で1分間やりとりを続ける力をつける「Let's Talk」、世界を広げ、多様な見方や考え方を育てるリアルな場面・題材をそろえた「Daily Life」が設定されている。ストーリーの内容を踏まえて自分ならどうするかなどを考える「Think」の問いを置き、考えを深めることができるようにしている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための句風> ○実社会に即したコミュニケーションの目的や場面・状況を設定した教材が豊富に取りそろえられており、実践的な英語の力を伸ばすことができる。 ○異文化理解や防災、キャリア教育、伝統文化、AI、環境問題などSDGsとの関連も含め、多様な見方や考え方を育てることができる。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○単元末の「Active Grammar」では、言語の使用場面と意味、形とを結びつけながら整理することができる。 ○高校入試からその先の学びにまで役立つ「領域別のコツ」を示す「Your Coach」があり、自律的学習者を育成できるようになっている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○QRコードを使用して音声や映像で自主的に学ぶことができる。 ○巻頭には「本書の構成」で到達目標が示され、巻末では「Can-Doリスト」で到達状況が確認できるようになっている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○色に頼らず、形でも認識できる配慮がされている。1年では手書き文字に近い書体からブロック体、セリフ体と少しずつ慣れるようにしている。小さい文字にはUD書体を使用している。アクセントは青色で付記してあり、2、3年生は発音記号が併記してある。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○3年間ひと続きのストーリーから成っており、登場人物4人の中学生が体験し、成長していく姿が描かれていて、生徒にとって共感しやすい内容である。1年生巻頭にLet's Be Friends が設けられ、小中の接続が円滑にできるようになっている。</p>	

書名 項目	<p style="text-align: center;">BLUE SKY English Course</p>	<p style="text-align: center;">6 1 啓林館</p>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の「Target」で、新出表現を含んだ例文が解説と共に分かりやすく示されている。 ○「Practice」や「Use」では、新出表現に慣れるための発話練習を行う仕組みになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文の「Q」、「Use」、「Express Yourself」や、3年間を通して様々な種類の統合的な言語活動を行う「Project」など、伝えたい内容を考え、何が適切かを判断し、それをわかりやすい英語で表現する力を養う活動を設けてある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Use」、「Express Yourself」、「Project」では、自分の意見や考えについて他者を意識しながら伝え合う活動ができるようになっている。 ○人権、福祉、自然など外国の話題について取り上げ、SDG s との関連も含めて国際理解や異文化理解を深められるようになっている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Project」の活動が身近なトピックについて書いたり、発表したりする形で、その手順も含めてパターン化されており、取り組みやすい。 ○言語活動に必要な語彙が「Tool Box」「Notes」等に取り上げられている。また「Words」で、特に身に付けさせたい語彙を「必修重要語」として太字で示している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○QR CODEが掲載され、単語や本文の文字と音声スマートフォンなどで再生でき、自主学習で活用できる。 ○イラストや写真を豊富に掲載し、学習効果を高められるようにしている。 ○巻末に「Word Box」が掲載され、場面に応じた表現力が高められるように構成されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○間違いやすい新出単語に強勢のポイントが打たれている。（1年次） ○1年生の英語部分には認識しやすいUDフォントを用いている。 ○広開製本を採用し、文字や情報を切れ目なく見渡せるとともに、机の上で開いたまま固定しやすくなっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元で新出表現を含んだ本文を読んで理解を深め、自己表現活動を行った後、「Project」で5領域を統合的に活用する活動へつなげる仕組みになっている。 ○小中高のスムーズな接続を意識した構成になっている。 	